

議員提出議案第20号

2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の東京招致を支援する決議

今夏のロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会は、スポーツの持つ力が世界中の人々に感動や希望、勇気を与えるとともに、改めて平和の祭典であることを私たちに思い起こさせた。これは、オリンピック・パラリンピック競技大会が、調和のとれた人間性の育成のみならず、平和の維持と国際的友好親善に寄与する世界最大のスポーツの祭典であることにほかならない。

2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の東京招致が実現すれば、東日本大震災からの復旧・復興に向け一丸となって取り組んでいる国民にとって大きな励ましと明確な目標をもたらすとともに、力強く復興する我が国の姿を世界に示し、東日本大震災に際して世界中から寄せられた支援に対する感謝の気持ちを表す絶好の機会となる。

さいたま市は、スポーツが備える様々な力によるまちづくりを進めるため、スポーツに関するシティセールスや関連マーケティング活動を専門的に展開する組織「さいたまスポーツコミッション」を国内で初めて設立し、運営している。また、「埼玉スタジアム2002」、「さいたまスーパーアリーナ」など世界的スポーツイベントの開催実績がある施設やその成功に導くノウハウなど豊かなスポーツ資源を擁し、東京に近接して交通アクセスの利便性も高いことから、市内の施設がオリンピック・パラリンピック競技で使用されれば、地域の活性化、スポーツの振興及び国際交流の推進を図る上で大きな意義を有するものとなる。

よって、さいたま市議会は、2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の東京都による招致活動を全面的に支援し、協力するものである。

以上、決議する。

平成24年10月23日提出

提出者	さいたま市議会議員	武 笠 光 明
	同	熊 谷 裕 人
	同	高 橋 勝 頼
	同	新 藤 信 夫
	同	萩 原 章 弘
	同	神 崎 功

同 細 沼 武 彦